

妻ヶ丘中学校だより

令和7年4月28日(月) 校長 飯干 裕二

本年度着任いたしましたの校長の飯干裕二（いいほし ゆうじ）です。よろしくお願ひいたします。

いよいよ令和7年度が始まりました。4月9日（水）の入学式で182名の1年生を迎え、全校生徒572名（2年生207名、3年生183名）で妻ヶ丘中がスタートします。

妻ヶ丘中は、前年度までの実績を受け継ぎ、今年度も更なる充実を図ってまいります。妻ヶ丘中の目指す生徒像は「自立 感謝 貢献」です。どうぞよろしくお願ひいたします。

どうぞよろしくお願ひいたします

今年度、新たに24名の職員が妻ヶ丘中学校に赴任及び配置となりました。新任式では、生徒会の 岩谷 尚憲 さんから温かい歓迎のことばをいただきました。多くの皆さんからご支援をいただきながら頑張ってまいります。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ○飯干 裕二 校長 ※高城中より | ○熊谷 博幸 先生 ※高崎中より |
| ○小緑 悠美 先生 ※大淀中より | ○河野 新太郎 先生 ※串間中より |
| ○水間 真美 先生 ※五十市中より | ○木下 由美子 先生 ※祝吉中より |
| ○山本 義隆 先生 ※三股中より | ○堺 友彦 先生 ※高原中より |
| ○秋次 悟志 先生 ※財光寺中より | ○加藤 伊織 先生 ※五ヶ瀬中等教育学校より |
| ○東原 智幸 先生 ※新規採用 | ○清田 茜 先生 ※新規採用 |
| ○堀内 俊希 先生 ※大卒 | ○笹本 勝弘 先生 ※三股中より |
| ○黒田 千佳 先生 ※事務職員 | ○南崎 秀子 先生 ※事務職員 |
| ○坂之下 祐子 先生 ※事務職員 | ○中山 由記子 先生 ※SSR（午後勤務） |
| ○瀬口 さおり 先生 ※図書館サポート | ○中田 百枝 先生 ※日本語サポート |
| ○兒玉 英之 先生 ※特別支援教育支援員 | ○首藤 征也 先生 ※特別支援教育支援員 |
| ○新盛 裕市 先生 ※特別支援教育支援員 | ○今久留主 舞衣 先生 ※SC |

生徒の皆さんに伝えたこと

始業式での校長の話及び入学式の式辞にて私の願いを伝えました。どちらとも同じ内容となります。ご一読くだされば幸いです。

皆さんに対する私の願いを、3つ程、話したいと思います。

一つ目は、本校の目指す生徒像である「自立 感謝 貢献」を一つのサイクルとした

取組を行うことです。この取組を行って三年間が経過し、かなり浸透してきました。具体的に申しますと、

先ず自立です。自立とは、「自ら考え 判断し 行動する・相手に伝える」ということです。私はこれを、今必要とされているプレゼンテーション能力と捉えています。

次に感謝です。自立を行う上で、必ず一人では解決できない困難に遭遇します。その時は、一人では抱え込みます、人に相談するなど、他者に依存してください。そうするとそこに感謝が生まれます。

そして、最後に貢献です。感謝が生まれたら、次に困っている人や地域のために、できる限り貢献してください。この取組が、無意識のうちにできるようになると、「自立 感謝 貢献」の達人です。是非、目指してくださいね。

二つ目のお願いは、全ての自分を受け入れ、自己肯定感を高めることです。自己肯定感とは、自分の存在をそのまま認めることです。自分というものは一つではありませんし、無理に一つにする必要はありません。先行き不透明で多様な時代だからこそ、多様な自分が必要かもしれません。

特に思春期に入る皆さんは、本当の自分とは何かと思い悩み、他者と比較したり、自分がイヤになることがあるかもしれません。でも決して嫌いにならないでください。多様な自分が全て本当の自分なのです。当然、人を傷つけたり、人に迷惑をかけたりする自分がいたら、これ以上大きくならないようにし、小さくしていき、いざれなくなればいいですね。

自分を受け入れることが、自己肯定感を高めることにつながります。

自己肯定感を高めることが、自分を大切にすることにつながります。

そして、自分を大切にできなければ、人を大切にすることはできません。

どうぞこのことを頭の片隅においていただければ幸いです。

最後に三つ目のお願いです。もし、辛く苦しい時がきたら、遠慮なく他者にSOSを出してください。そして、とても大事なことですが、周囲の人で苦しんでいる人がいたら、すぐに大人に知らせてください。先行き不透明な時代だからこそ、人に依存しあい、助け合うことが大切です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

第1回参観日、PTA総会お疲れさまでした

4月26日（土）に実施された、第1回参観日及びPTA総会へのご参加、誠にありがとうございます。特にPTA総会では、私からのお願いばかりで申し訳ありません。どうぞ、現在の学校教育界の危機的状況をご理解いただき、ご支援いただければ有難いです。

また、授業参観及び学級懇談等を通して、お気づきの点がございましたら、何なりと学校までご連絡ください。